

## 平成 26 年度 大阪産業大学附属高等学校 学校評価

### 1 めざす学校像

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。

日常生活の大切さ、努力の重要性を説く「偉大なる平凡人たれ」の建学の精神は、今、本校の次のような姿に現れています。

挨拶する声が響きあう学校。

夜遅くまで自習室で学習する生徒。

朝早くから自主練習に励むクラブ員。

生徒一人ひとりの努力をもっと励ましていける学校をつくっていきます。

### 2 中期的目標

#### 1. 教学改革

- (1) カリキュラムの改定
- (2) 人格の形成をめざして
- (3) 生活指導の充実
- (4) 課外活動の活性化
- (5) 国際理解教育の推進
- (6) 大阪産業大学ファミリーの構築

#### 2. 進路指導の発展

- (1) 進路指導部の充実
- (2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策
- (3) 他大学への進学対策
- (4) キャリア教育の充実

#### 3. 広報

- (1) 優秀な生徒の確保
- (2) 入試広報の充実
- (3) 入試渉外活動の充実

#### 4. 人材育成

- (1) 優秀な職員の確保と研修の促進

#### 5. 経営改革

- (1) 財政基盤の確立
- (2) 学校規模の適正化
- (3) 施設設備の充実

#### 6. 防災・安全対策

- (1) 防災対策の徹底
- (2) 安全対策の徹底

#### 7. 学校運営

- (1) コンプライアンスの遵守
- (2) 情報開示

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成 27 年 1 月実施分]	学校評価委員会からの意見
○生徒 別紙「2014年度 アンケート結果のご報告」参照 ・「授業アンケート」の結果 ・「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果 ・「学校生活についてのアンケート」の結果	別紙「2014年度 学校関係者評価」参照

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 教学改革	(1) カリキュラムの改定 ア. 設置科・コースの見直し	設置する普通科・国際科の各科・各コースの独自性を明確に打ち出し、特色を十分に活かした教育を実践します。	平成 28 年度より国際科を改編する学則変更	国際科について、平成 28 年度より特進コース・進学コースを一本化し、グローバルコースに改編することにし、年度末に学則を変更しました。このコース改編は、国際科を、本来の意味での「グローバル人材」を育てるコースとするためのものです。クラウドコンピューティング、外国人留学生との交流などを通じ、国際社会でも活躍できる主体性・積極性、チャレンジ精神を養うとともに、外国語大学・外国語学部への進学をめざします。
	イ. 年間行事計画の見直し	授業日数の確保を踏まえ、始業式・終業式等年間行事計画を見直します。	平成 27 年度年間行事予定表	平成 27 年度の 2 学期終業式、3 学期終業式の日程を見直しました。
	ウ. 学習効果の検証	・授業アンケートの実施 ・授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケートの実施	アンケート結果	「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくのか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきます。
	エ. 図書活動の強化	「『与える教育』から『考えさせる教育』へ」という教育実践目標の具体化として、図書館機能の充実と図書委員会の活性化をすすめ、図書活動の強化をはかります。	月 1 回の「Library News」の発行	学校司書の配置の下、図書委員会活動が活発に行われています。
	(2) 人格の形成をめざして ア. 徳・知・体「三位一体教育」の推進	・体育祭への取り組み ・文化祭(梧桐祭)への取り組み	ホームページに掲載している体育祭・文化祭(梧桐祭)の動画	平成 26 年度、体育祭・文化祭(梧桐祭)は大きな盛り上がりを見せました。体育祭では、競技前に円陣を組んで気合を入れる姿があらこちらで見られ、国旗・校旗の掲揚・降納の際に校歌が自然発生的に歌われました。梧桐祭では、保護者の方から「良い雰囲気だね」と、会場の雰囲気を褒めていただきました。
	イ. 地元から愛される学校づくり	・クラブによる始業前の校門での挨拶運動 ・学校周辺の清掃活動	学校関係者評価委員会での地域住民の方の意見	いくつかのクラブが、始業前に校門での挨拶運動や学校周辺の清掃活動に取り組んでおり、地元地域から評価を受けています。
	ウ. 平和・人権教育の推進	・人権意識アンケート(5月) ・人権教育週間(6月) ・人権啓発週間(9月) ・人権フォーラム(11月)	各取り組みの実施	人権意識アンケート(5月)、人権教育週間(6月)、人権啓発週間(9月)、人権フォーラム(11月)に取り組んできました。
	エ. 「面倒見の良さ」と「厳しさ」の両面から迫る教育の実践	学力保障期間	学力保障期間の取り組み	「面倒見の良さ」ということは、生徒を甘やかすということではありません。面倒見良く指導し、やらなくてはならないことはきちんとやるようにする「厳しさ」が必要であると考えています。学力保障期間を設け、「面倒見の良さ」とともに「厳しさ」の両面から教育実践をすすめました。
	(3) 生活指導の充実 ア. 挨拶の励行	挨拶励行の呼びかけ	・学校関係者評価委員会での保護者・地域住民の方の意見 ・生徒の学校生活アンケート	保護者・地域住民の方などから本校の教育について意見を伺うための学校関係者評価委員会で「生徒が挨拶をきちんとしている」との評価を受けており、また生徒自身も学校生活アンケートで「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」との設問に 80%が好評価をしています。

1 教学改革	イ. 離学者対策の推進	不登校、問題行動、低学力による離学者を防止する体制を整えます。低学力者に対して取り組んでいる学期ごとの学力保障期間の取り組みを再検討します。	学力保障期間の設定	学期ごとに学力保障期間の取り組みをすすめました。
	ウ. マナーやモラルの向上	ネット社会の問題点について生徒が理解を深めるように取り組みます。	「高校生活のしおり」の改訂	ネット社会の問題点について、生徒が理解を深めるよう「高校生活のしおり」に記載しました。
	エ. 個性を伸ばす生徒指導の実施	「褒めて伸ばす」指導	全体職員会議で提起	4月1日に実施した非常勤講師を含めた全体職員会議で、「褒めて伸ばす」指導ということを提起し、生徒の自己肯定感を高めるように取り組んでいます。
	(4) 課外活動の活性化		クラブ加入率	本校のクラブ活動には、誇るべき成績が多くあります。多くの運動部、とりわけ強化指定クラブが、全国大会出場、更には「日本一」をめざして練習に励んでおり、実際、全国大会への出場、「日本一」を果たしたクラブもあります。しかし、本校がクラブ活動で誇っているのは、成績だけではありません。多くの生徒がクラブ活動に参加し、スーパーアスリートとは言えないかもしれない人間が地道にたゆまず努力している姿こそ、本校が誇りにしているものです。
	ア. 「強化指定クラブ」の強化	強化指定クラブ(アメリカンフットボール部、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、テニス部、柔道部、ウエイトリフティング部)は、スポーツ推薦制度を活用し優秀な生徒の獲得に努め、熱心で充実した練習で全国大会出場を実現するようにします。	クラブ戦績	強化指定クラブでは、硬式野球部は秋季近畿大会大阪府予選ベスト4、サッカー部はプレミアリーグ参入戦進出、ラグビー部は全国大会大阪府予選第1地区決勝戦進出、バレーボール部は全国私学大会第3位、テニス部は全日本ジュニアテニス選手権男子ダブルス18歳以下優勝、ウエイトリフティング部は全国高校選抜大会において女子75kg級優勝との成績をおさめています。強化指定クラブ以外では、少林寺拳法部が、全国高校選抜大会において男子自由単独演武、女子自由単独演武で優勝、自転車競技部が全国高校選抜大会に出場しています。なお、指導体制を強化するため、硬式野球部、ウエイトリフティング部、ゴルフ部で新たな指導者・コーチを招聘しました。
	イ. 文化・芸術活動の充実	吹奏楽部の充実	吹奏楽部指導者の招聘	吹奏楽部の指導者を平成27年度から招聘することにしました。
	ウ. 「学業とクラブ活動の両立」をめざして	「学業とクラブ活動の両立」の呼びかけ	クラブによる試験前勉強会の実施	クラブ員の中には、強化クラブのレギュラーで頑張りながら、あるいは文化部の中心となりながら、学習成績でもトップクラスの成績をおさめている生徒が少なからずいます。
	エ. 生徒会活動の充実	生徒会執行部への指導	生徒会主催による球技大会の開催	生徒会執行部は、新たに生徒会主催の行事を開催するなど活発に活動しようとしており、指導を強めるようにしました。
	(5) 国際理解教育の推進			
	ア. 国際科における独自性の推進	1年次での留学生と交流する宿泊研修、2年次でのホームステイを含む9日間の修学旅行に加え、希望者を対象にした留学制度(1年間または3か月間)を設けていますが、英語力の向上のためのカリキュラムをより一層充実させるようにしていきます。	平成27年度カリキュラム改定	平成27年度からのカリキュラムを見直し、3年生でもネイティブ・スピーカーの会話の授業を設けることにしました。

1 教学改革	(6) 大阪産業大学ファミリーの構築 ア. 中高連携体制の充実			生徒の高校への進学に合わせて担任も持ち上がり、産大附属中学から産大附属高校への進学を更にすすめやすくしました。														
2 進路指導の発展	<p>(1) 進路指導部の充実</p> <p>ア. 生徒の多様な受験(進路)への対応</p> <p>(2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策 ア. 高大連携による進学指導の充実</p> <p>(3) 他大学への進学対策 ア. 特進コースの進学対策</p> <p>(4) キャリア教育の充実 ア. 選択を広げる情報提供</p>	<p>キャンパス訪問、出張講義、入学前教育等を通じて、大学進学への目的意識がより一層高まるようになっていきます。さらに、卒業生への高校・大学合同の面談指導等、フォローアップを引き続きすすめるようになっていきます。</p> <p>・週 39 時間授業 ・早朝テスト ・午後 8 時まで開放している自習室 ・学習合宿</p> <p>情報提供</p>	<p>大学合格者数(実数)</p> <table border="1" data-bbox="1108 647 1396 943"> <tr><td>卒業生数</td><td>773</td></tr> <tr><td>大阪産業大学</td><td>248</td></tr> <tr><td>国公立大学</td><td>7</td></tr> <tr><td>関関同立</td><td>21</td></tr> <tr><td>産近甲龍佛</td><td>49</td></tr> <tr><td>関西外国語大学</td><td>27</td></tr> <tr><td>その他の大学</td><td>315</td></tr> </table> <p>・キャンパス訪問の実施 ・出張講義の実施</p> <p>・左記取り組みの実施</p> <p>大阪府実施事業の情報提供</p>	卒業生数	773	大阪産業大学	248	国公立大学	7	関関同立	21	産近甲龍佛	49	関西外国語大学	27	その他の大学	315	<p>偏差値が飛びぬけて高いということではない人間が地道にたゆまず努力することを大切にしており、進路指導に当たっても生徒一人ひとりの希望を叶えることを大切にしています。</p> <p>設置する普通科、国際科の6つのコースの独自性を明確に打ち出すようにしました。スポーツを活かした大学進学をめざす普通科スポーツコース、関西外国語大学との高大連携プログラムによる特別入試制度がある国際科では、進路においても独自性を打ち出しています。</p> <p>本校で一番大きなコースであり、高大連携の取り組みにより附属高校としての魅力が最も表れている普通科進学コースを中心に、大阪産業大学との高大連携を作り直すとともに、普通科特進コースにおいて、国公立大学・難関私立大学への進学実績をあげるように努めます。</p> <p>平成 26 年度卒業生の進路状況は、4 年生大学 75%、短期大学 3%、専門学校 14%、就職 3%、その他 4%となっています。</p> <p>○中高連携コース生の大学進学実績 産大附属中学から産大附属高校へ進学した生徒が、兵庫県立大学、関西大学(法)に合格しました。</p> <p>キャンパス訪問、出張講義、入学前教育を通じて、大学進学への目的意識がより一層高まるようにしました。</p> <p>国公立大学への合格者は、大阪大学 1 名、大阪府立大学 1 名、大阪市立大学 2 名、兵庫県立大学 3 名であり、関関同立は計 21 名、産近甲龍佛は計 49 名となっています。</p> <p>週 39 時間授業、早朝テスト、午後 8 時まで開放している自習室、学習合宿等を通じ、学力の伸長をはかりました。</p> <p>大阪府実施の「一日看護師体験事業」を初めて生徒に案内し、生徒が参加しました。</p>
卒業生数	773																	
大阪産業大学	248																	
国公立大学	7																	
関関同立	21																	
産近甲龍佛	49																	
関西外国語大学	27																	
その他の大学	315																	

3 広報	(1) 入試広報の充実 ア. ホームページの活用強化	法人事務局総合企画室学園広報課の力を借りて、ホームページの活用強化をはかります。そのためにも、校内でホームページを担当する体制をつくりまします。ホームページの全面リニューアルをはかるとともに、紙媒体の広報ツールと電子媒体の広報ツールのバランスを検討するようにします。	ホームページの全面リニューアル	ホームページを全面リニューアルしました。そのホームページに、梧桐祭、体育祭の動画を掲載し、本校生徒の元気で明るい姿を多くの人に見てもらっています。
4 人材育成	(1) 優秀な職員の確保と研修の促進 ア. 優秀な教育職員の確保  イ. 教員研修の設計と運営	中・高合わせて平成 26 年度末から僅か 5 年の間に 13 名、専任教諭数の約 2 割が定年退職することになります。中・長期的な観点から、複数年度の退職者数を、年度を越えて採用できる柔軟な措置を講じることが求められています。  教育研修部の機能を強化し、授業アンケートの結果を踏まえた自己検討がすすむようにしていきます。	専任教諭の採用  授業アンケートの実施	中・高合わせて 4 名の専任教諭を採用しました。  授業アンケートの結果を踏まえ、自己検討を求めました。
5 経営改革	(1) 施設設備の充実			普通教室映像設備更新 LL 教室 PC 機器更新
6 防災・安全対策	(1) 防災対策の徹底 ア. 防災意識の向上  (2) 安全対策の徹底 ア. 通学時における安全対策の強化	消防訓練  登校指導・下校指導	消防訓練の実施  登校指導・下校指導の実施	1 学期に消防訓練を実施し、防災意識の向上を図りました。  登校指導、下校指導に合わせ、通学時の安全指導を行いました。